

洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会設立趣意書

洞爺湖有珠山周辺では、平成12年有珠山噴火の復興対策として、周辺6市町村（当時）で洞爺湖周辺地域エコミュージアム構想を策定し、平成18年11月には、洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会を設置し、エコミュージアム宣言（平成14年10月26日）に基づく自然博物館づくりが推進されてきました。

平成19年8月以降、エコミュージアムと共通の理念をもつユネスコの支援する世界ジオパークについて調査、検討を行い、平成20年4月以降、世界ジオパークネットワーク（以下「GGN」）の加盟に向けた申請作業を行い、昨年8月22日に中国泰安市において開催されたGGN事務局会議において、新潟県糸魚川及び長崎県島原半島とともに、国内初の認定を得たところであります。

GGNへの加盟は、当地域の魅力を全世界へ発信する絶好の機会であるとともに、研究・教育・普及に活かし、ジオツーリズムを通じた持続可能な地域経済の発展に大きく寄与するものと考えます。

ここに、エコミュージアムの理念を継承し、世界ジオパークネットワークのガイドラインに沿ったジオパークづくりを推進するため、各界各層からなる「洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会」を設立するものであります。

平成22年2月

洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会

会 長	壮瞥町長	山 中 漠
副会長	洞爺湖町長	長 崎 良 夫
監 事	伊達市長	菊 谷 秀 吉
監 事	豊浦町長	工 藤 國 夫